

八幡市予算 組み替えを提案

くらし応援の予算に

日本共産党
八幡市議団



3月議会

八幡市3月議会では、市民のみなさんの運動と日本共産党の議会論戦で、国民健康保険料の値下げ、学童保育の開設時間の延長などで一歩前進しました。しかし、不十分な点が多いので、日本共産党市議団は3月27日の本会議で予算案にたいする組み替え動議を提出しました。

日本共産党市議団が予算組み替え動議を提出したのは4年ぶり。全国の自治体議会では、市長提案をそのまま成立させる動きに疑問がおり、予算組み替えや修正などが議論されている自治体も少なくありません。

世界でも 日本でも
核兵器禁止へ
大きな世論を

国際会議
国連で

日本共産党 組み替え提案の内容

◇国保料の追加値下げ (5000万円)

京都府下で最高額の国民健康保険料を値下げするため、5000万円の財源を投入。これにより、現在の国保料を4人家族で1万2000円値下げできます。

◇国保の医療負担軽減 (1300万円)

所得の低い人の医療費負担を軽減。

◇入学準備金 (900万円)

小・中学校の新1年生のランドセルやカバン、制服代として支援する入学準備金(就学援助)を、入学前の2、3月に支給します。

◇下水道料金値下げ (5000万円)

下水道料金を値下げすることを求めました。

◇プラスチックごみ毎週回収 (3200万円)

近隣市ではプラスチックごみの毎週回収が当たり前。八幡市でも今年10月から毎週回収することを提案。

上記5項目の総計…1億5400万円

◆◆◆

◆◆◆

◇同和事業予算を削減 (3830万円)

◇基金の活用

4月時点で57億円ある市の基金から1億1570万円取り崩します。内訳は下水道事業基金5000万円、一般財政調整基金6570万円。

他の会派が動議に反対 議会改革に逆行 これていいの?

しかし八幡市議会では、組み替え動議にたいし賛成は日本共産党の4人とどまり、他の会派の議員は反対しました。たいへん残念です。日本共産党は、組み替え動議で提起した課題を実現するためにがんばります。

入学準備金 文科省が改善通知

文部科学省が3月末、生活保護世帯と同水準の要保護世帯について、小中学生の「入学準備金」(就学援助)の増額、入学前でも支給可能とする通知を自治体に送付。日本共産党国会議員団の論戦が実り、一歩改善です。

予算組み替え動議に入学準備金の改善を盛り込みましたが、他会派が反対し実を結びませんでした。しかし文科省の新通知をふまえ、各地で入学準備金の入学前支給、増額の対応が迫られます。日本共産党は運動と論戦を強め入学準備金改善に全力をあげます。

平和首長会議
市長は加盟を拒否

国連は3月末、核兵器禁止条約の交渉会議を開催し、6～7月にかけて草案を提起し、条約採択をする方向です。会合では、日本共産党・志位委員長も発言し、条約の早期締結を要請しました。

一方、核兵器廃絶をめざす平和首長会議は国内で97%の自治体が加盟していますが、八幡市は未加盟です(京都府では2自治体のみ)。3月市議会で加盟を促しましたが、市長は「加盟しない」と拒否。核兵器廃絶をめざす世界の流れに背を向けています。

国際会議で、日本の被爆者が発言し、「核兵器廃絶の願い」を世界に伝えました。



こんにちは 日本共産党です

<八幡市議会報告ニュース> 2017年春号

日本共産党八幡市議会議員団 075(983)2005 (FAXも)

メールアドレス

jcp-ywta@am.wakwak.com

力あわせてがんばります

山本邦夫市議 982-8844

巖 博市議 982-9663

亀田優子市議 982-1277

中村正公市議 983-8312

くらしを応援する

財源は…

くらしの願い実現に全力

日本共産党

子育て支援で 一歩前進

日本共産党市議団は3月議会で、くらしの願い実現にがんばり、子育て支援策などで一歩前進。また、予算審議では、核兵器廃絶への消極姿勢、まちづくりの矛盾、高齢者医療の負担増などくらしの困難、不公正な同和事業の温存などの理由から、8本の予算会計のうち一般会計、後期高齢者特別会計に反対しました。

学童保育 開設時間の改善

6月から八幡市の学童保育の開設時間が拡充されます。

平日 18時30分⇒**19時**まで

平日は18時30分までだったのが19時まで延長されます。

夏休みなど 朝8時半⇒**朝8時**から

夏休みなどの平日は、朝8時30分からだったのが8時からになります。

市民のみなさんがとりくんでこられた子育て支援の充実を求める請願署名などが実を結び、学童保育の改善を実現できました。



中学校給食

5月1日から



市民の世論が市政と議会を動かし、中学校給食が5月からスタートします。

市内3つの小学校で作った給食を4つの中学校に配送。中学校では、給食の搬入口や配膳室が整備されました。新たに栄養教諭が小学校に2人、中学校に1人、配膳員が中学校に4人増員されます。

中学校給食費は月5200円程度。所得の低い家庭への就学援助の対象となりました。

高齢者の医療 負担増あいつぐ 後期高齢者保険料 減額措置を縮小など

75歳以上の後期高齢者医療の保険料が、所得割で5割軽減から2割軽減に縮小され、732人に影響します。市全体で634万円の負担増です。被用者保険加入者の扶養家族の定額部分の軽減が9割から7割に縮小。254人に影響し、240万円の負担増です。国の制度改悪に連動し、夏から負担が増えます。

安倍内閣の医療改悪が直撃

70歳以上の住民税課税の高齢者の高額療養費制度が改悪されます。外来の負担上限額が2000円アップ。年間1869件、370万円の負担増です。入院も1万3200円引き上げられ、年間1137件、1500万円の負担増。

安倍内閣の医療改悪が高齢者を直撃。市も負担軽減策を打ち出していません。

新名神^{高速}道路 利便性に疑問

第2京阪に
入れません



新名神高速道路（八幡・城陽間）が4月末に開通しますが、利便性に疑問が残ります。新名神と第2京阪は接続されますが、八幡インターからは新名神への出入りしかできず、第2京阪には行けません。

また府道八幡インター線が住宅近接地に開通することに伴い、環境対策が不可欠です。

府道八幡インター線は、新名神の高槻延伸時には幅25メートルに広がります。新名神（幅約40メートル）とインター線が並行することになります。大気や騒音などの環境対策、開発による大雨時の排水池設置などが必要です。

八幡市・枚方市域では倉庫撤去にともなうアスベスト飛散防止などの環境対策を求めました。

市道橋本南山線

信号機がない！



市道橋本南山線の高架部分が府道京都守口線と接続されました。国道1号から大山崎方面への通過車両の増加など、男山・橋本地域の住環境への影響が懸念されます。

交差点部分は現在T字路ですが、交差点角にスーパーが開設する夏には四つ角になります。バスや自動車の右左折もあります。歩行者や自転車は、信号がないため、広い道をなかなか渡れません。

信号を設置すべき場所は大阪府域になるので、市は一刻も早く信号をつけるよう大阪府警に要請すべきです。

市民の目線でまちづくりを

日本共産党